

2023 年度活動報告

1. 理事会

代表：市原真穂（小児看護）、副代表：宇都宮明美（急性・重症患者看護）

理事：石川幸司（急性・重症患者看護）、前澤美代子（がん看護）、佐藤直子（地域看護・在宅看護）、田中久美（老人看護）、米田昭子（慢性疾患看護）、新改法子（感染症看護）、藤原由佳（がん看護）、河野伸子（精神看護）、河野佐代子（精神看護）、小野美雪（家族看護）、浅野浩子（母性看護）、井沢知子（がん看護）、田墨恵子（がん看護）、西山みどり（老人看護）

監事：長田暁子（小児看護）、寺岡征太郎（精神看護）

- 1) 日本看護協会、日本看護系大学協議会との3団体協議の場で、CNSの育成、活用、貢献に関する本会の取り組みと課題認識について情報提供し、意見交換を行った。CNSの成果を可視化してゆく必要性について共通認識を得た。
- 2) 協議会から学会への移行について、活動目的、会員資格、名称、組織体制等の変更に関する論点整理を行う部会を設置し、次年度に検討を進めることとした。

2. CNSのあり方検討部会

部長：前澤美代子（がん看護）

部会員：佐藤直子（在宅看護）、渡邊眞理（がん看護）、門馬康介（急性・重症患者看護）、和田由樹（慢性疾患看護）、山田雅子（地域看護）、武用百合子（精神看護）、藤田冬子（老人看護）、

オブザーバー：市原真穂（小児看護）、宇都宮明美（急性・重症患者看護）、長田暁子（小児看護）

- 1) CNSの貢献度についての調査結果のまとめと公表
- 2) CNSのあり方の示し方についての検討
- 3) CNSの活動の周知に向けた日本看護学会や関連学会への発信の準備
- 4) 新たな調査（看護管理者、市民など）の準備：計画書の作成、倫理審査申請
- 5) CNS制度員会に向けた意見や提案

3. 学会化に関する検討部会

部長：宇都宮明美（急性・重症患者看護分野）

部会員：石川幸司（急性・重症患者看護専門看護師）、梅田恵（がん看護分野）、岡本充子（老人看護分野）、戸沢智也（慢性疾患看護分野）、松岡真里（小児看護分野）、藤野智子（急性・重症患者看護）

- 1) NP学会の代表理事と本会代表理事の学会設立・学会化について協議

2)JANA へ入会に向けての必要事項を確認

3)①学会化に関する経緯、②学会化のメリット・デメリット、③今後のスケジュールの資料の作成

4. 臨床能力検討委員会

委員長：田中久美（老人看護）

委員：谷島和美（精神看護）、吉田紀子（急性重症看護）、吉村由美香（小児看護）、塗木京子（がん看護）

1)CNS コンピテンシーに関する資料の読み合わせ

2)CNS キャリアラダーマイナーチェンジ経緯の確認

3)ハムリック高度実践看護統合的アプローチ第7章直接的臨床実践の読み合わせ

4)委員会メンバーの内の CNS ラダーを導入の確認

5. 研修委員会

委員長：米田昭子（慢性疾患看護）

委員：新改法子（感染症看護）、山下いづみ（老人看護）、金英仙（母性看護）、西村知子（老人看護）、小泉雅子（急性・重症患者看護）、千田千春（感染症看護）、三浦美穂（感染症看護）、松村麻衣子（精神看護）、増田誠一郎（慢性疾患看護）、北村幸恵（慢性疾患看護）、岩田友子（がん看護）、井上智恵（がん看護）、行田菜穂美（地域看護）、河添こず恵（在宅看護）

1) ラダー別スキルアップセミナー「倫理調整に強い CNS になる！」の開催

2)全体セミナー「国の施策を踏まえた専門看護師の実践を考える」の企画と準備

3) 第 11 回日本 CNS 看護学会交流集会の企画・演題投稿

6. 政策提言委員会

委員長：藤原由佳（がん看護）

委員：児玉久仁子（家族支援）、戸石 未央（地域・在宅看護）、鶴屋 邦江（老人看護）小江 寛子（小児看護）、鈴木智津子（慢性疾患看護）

1)令和 6 年度診療報酬改定に向けて技術提案および厚生労働省ヒアリング出席

2)第 10 回日本 CNS 看護学会にて交流集会を開催、調査研究結果の報告および ACP に関する CNS の取り組みについての意見交換実施

3)政策提言委員会企画セミナー「アドバンス・ケア・プランニング -CNS による支援の在り方を考える-」の開催

4)多角的な視点での政策提言の必要性の検討に向けたアンケートの実施

5)看護系学会等社会保険連合の委員会、研修会に参加

7. 編集委員会

委員長：河野伸子（精神看護）

委員：河野佐代子（精神看護）、戸谷幸佳（老人看護）、中村喜美子（がん看護）、鶴澤久美子（慢性疾患看護）、吉森容子（母性看護）

- 1) 日本 CNS 看護学会誌の編集活動
- 2) 投稿規程や査読システムなどの見直し

8. 会則委員会

委員長：小野美雪（家族支援）

委員：武用百子（精神看護）、河野政子（在宅看護）

- 1) CNS 協議会倫理規定の作成と検討
- 2) 実践報告、事例検討会における個人情報保護に関する指針の作成と検討
- 3) 各委員会規定の作成

9. 総務委員会

委員長：浅野浩子（母性看護）

委員：井沢知子（がん看護）、田墨恵子（がん看護）、西山みどり（老人看護）

- 1) 会員登録情報の管理、各種問い合わせへの対応
- 2) 雇用情報やセミナー・研修会・CNS 学会の周知依頼への対応
- 3) 協議会ホームページの管理
- 4) 協議会ポスターの改訂
- 5) 加入者の増加に向けた広報活動（協議会ポスターの CNS 教育機関への郵送、学会での設置等）
- 6) 年会費の管理、各委員会活動・各分野研修予算の管理
- 7) CNS 広報活動（文化放送ラジオ）対応、制作者と CNS との調整

10. 第 10 回日本 CNS 看護学会開催報告

テーマ：高度実践看護師の未来を創造する－分野を越えた専門性の明確化－

会期：2023 年 6 月 10 日（土）

会場：現地開催+ Web 開催

大会長：武用 百子（精神看護）